



I 第 48 週の発生動向 (2025/11/24~2025/11/30)

- インフルエンザについては、すべての保健所管内で**警報**が継続しています。引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 水痘については、上北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。下北保健所管内で**注意報**が継続しています。一方、東津軽+青森市保健所管内の警報及び三戸+八戸市保健所管内の注意報は**解除**となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「エキノコックス症」です。最終ページに掲載しています。

II 第 48 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

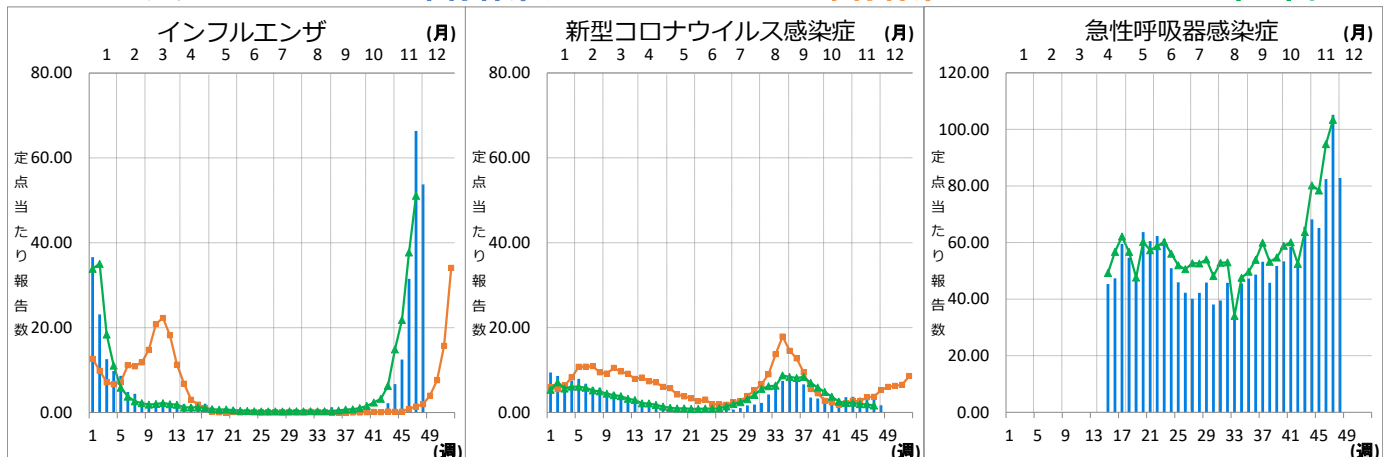
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	681	61.91	233	23.30	666	66.60	259	43.17	651	72.33	305	50.83	2795	53.75	-656
	新型コロナウイルス感染症	15	1.36	28	2.80	10	1.00	9	1.50	18	2.00	8	1.33	88	1.69	-67
	急性呼吸器感染症	1358	123.45	516	51.60	749	74.90	362	60.33	959	106.56	362	60.33	4306	82.81	-1161
小児科	RSウイルス感染症			4	0.67	3	0.43	4	0.80			2	0.50	13	0.38	4
	咽頭結膜熱	1	0.17			2	0.29	4	0.80	3	0.50			10	0.29	2
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	5	0.83	7	1.17	4	0.57			1	0.17	5	1.25	22	0.65	2
	感染性胃腸炎	10	1.67	4	0.67	30	4.29	14	2.80					58	1.71	-29
	水痘	3	0.50	4	0.67	1	0.14	2	0.40	6	1.00	4	1.00	20	0.59	-22
	手足口病	4	0.67											4	0.12	3
	伝染性紅斑					1	0.14							1	0.03	-3
	突発性発しん	3	0.50	1	0.17					2	0.33			6	0.18	-4
	ヘルパンギーナ	1	0.17			4	0.57							5	0.15	0
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎			3	1.00					1	0.50			4	0.44	1
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00			3	3.00			5	5.00	9	1.50	2
	無菌性髄膜炎															0

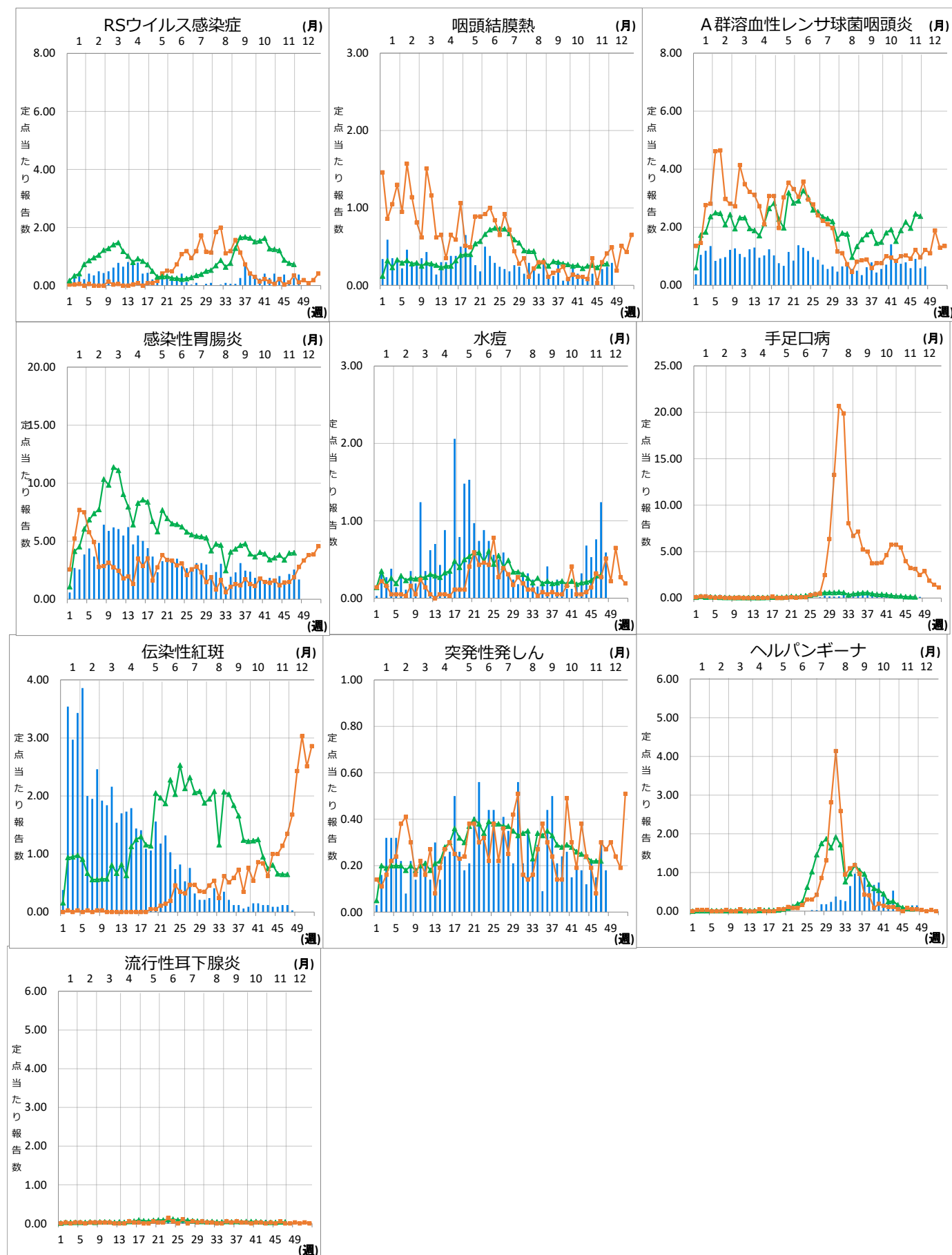
III 定点把握対象疾患週別推移(急性呼吸器感染症定点)(2025 年第 48 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は 2025 年青森県、〓は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国

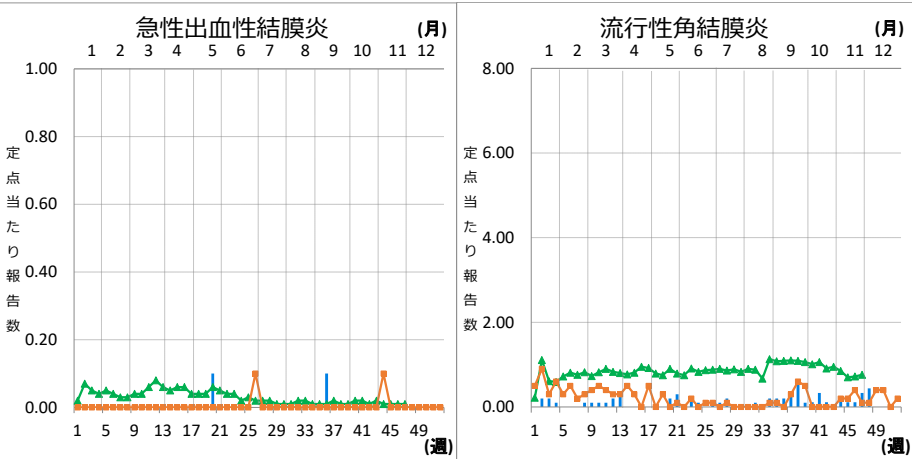


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 48 週、ただし全国は前週）

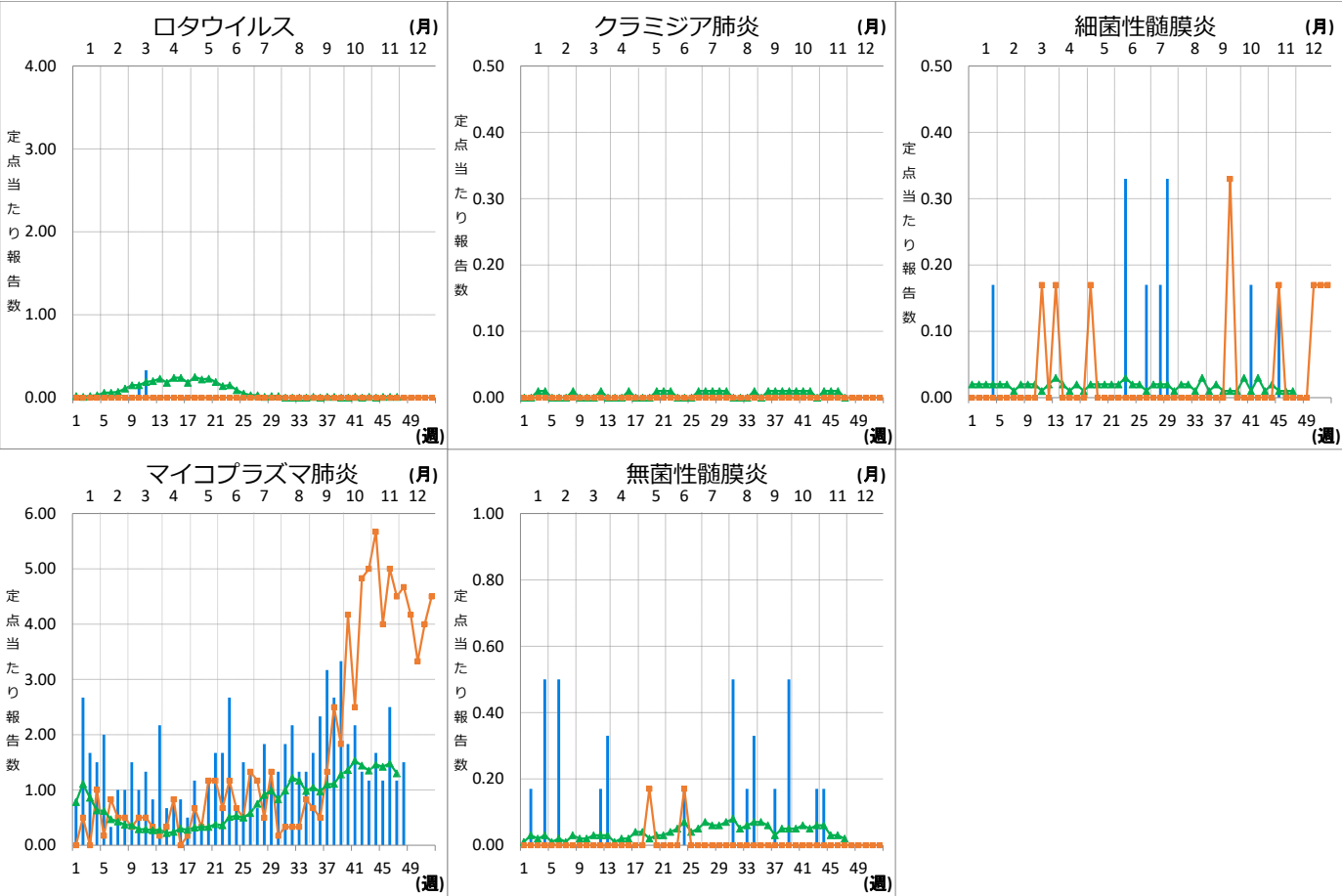
グラフの説明  —は 2025 年青森県、■—■は 2024 年青森県、▲—▲は 2025 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 48 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 48 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 41～48 週)

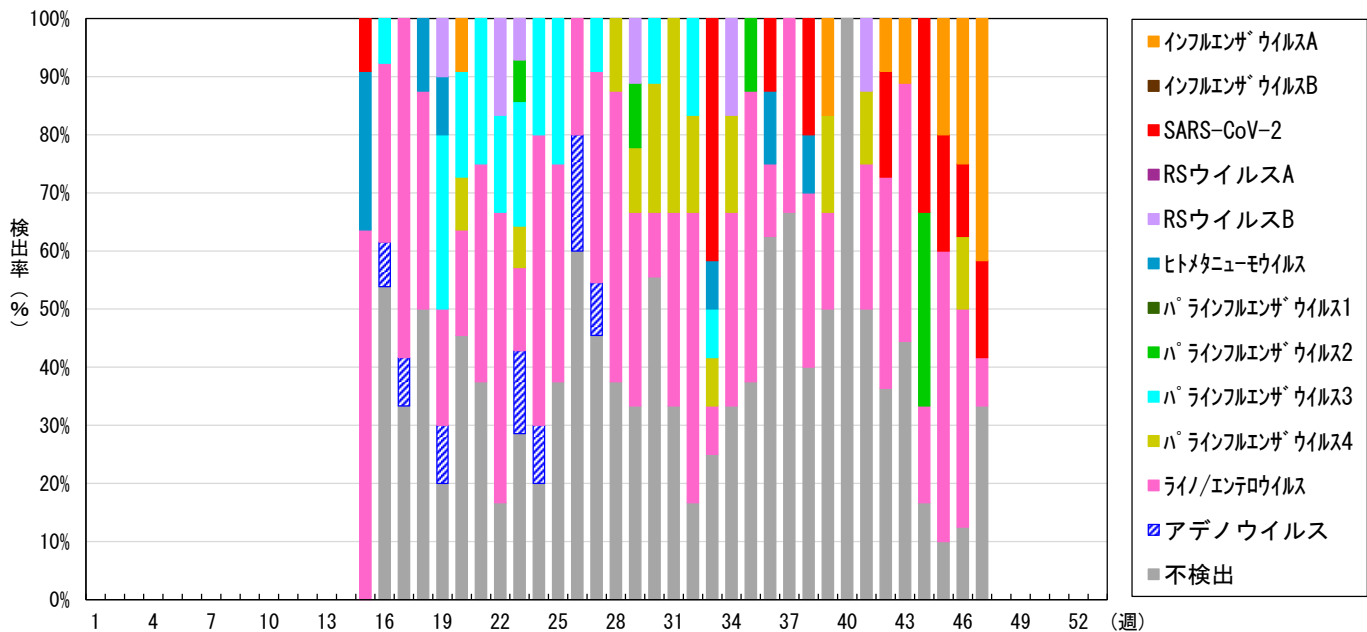
急性呼吸器感染症	2025年							
	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週
提出検体数	8	11	9	5	10	7	10	8
インフルエンザウイルスA	0	1	1	0	2	2	5	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	2	0	2	2	1	2	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	1	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	2	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	1	0	0	0	0	1	0	
ライノ/エンテロウイルス	2	4	4	1	5	3	1	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
不検出	4	4	4	1	1	1	4	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	8

※第44週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第46週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス4及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第47週に提出された検体のうち、インフルエンザウイルスA及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体、インフルエンザウイルスA及びSARS-CoV-2が重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 48 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、中南 1 人、三戸 1 人 (2025 年計： 105 人)
- ・レジオネラ症(四類感染症)：青森市 1 人 (2025 年計： 13 人)
- ・梅毒(五類感染症)：中南 1 人、上北 1 人 (2025 年計： 25 人)
- ・百日咳(五類感染症)：八戸市 2 人 (2025 年計： 756 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 45 週～2025 年第 48 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
45		結核1人 レジオネラ症1人 百日咳3人	百日咳1人			
46	結核1人 水痘(入院例)1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人 百日咳1人	結核1人			
47	梅毒2人 百日咳3人		結核1人 梅毒1人	レジオネラ症1人	百日咳1人	
48	結核1人 レジオネラ症1人	結核1人 梅毒1人	結核1人 百日咳2人		梅毒1人	

第 47 週に、百日咳の届出が上北保健所管内で 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 47 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	12810	4	51	4021	29	8	519	125	26	13
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱
累積報告数	10	6	6	1	187	2	20	137	155	661
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	3	1	1	19	18	1	2211	58	401	227
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	1102	33	520	23	163	1230	763	33	594	74
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	3021	594	12352	151	85	80	86831	11	245	9

青森県（2025 年第 1 週～第 48 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	105	37	1	17	1	1	13	1	9	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	4	6	2	4	15	1	25	1	756	

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 48 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第48週	報告なし		

2025 年報告件数及び症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45週	46週	47週	48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0		235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0		35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0	0	0	0		676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0		88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0		10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0	0					57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0	0					1009

感染症の窓

エキノкокクス症

エキノкокクス症は、エキノкокクス属の条虫による寄生虫症で、日本国内では、単包性エキノкокクス症と多包性エキノкокクス症の2種類の病型があります。キツネやイヌなどから排せつされた、エキノкокクス属条虫の虫卵に汚染された水、食品などを摂取することや、宿主である動物と直接接触することで感染し、ヒトからヒトへうつることはありません。

感染しても、多くの例では、感染初期（約10年以内）は無症状で経過します。単包性エキノкокクス症では、孤立性の嚢胞がゆっくりと増大して肝腫大や腹痛がみられ、周囲の臓器を圧迫し、胆道閉塞や胆管炎を併発したり、ときに破裂もします。多包性エキノкокクス症では、肝臓に微小な嚢胞が生着し、サボテン状に連続した腫瘤を形成しながら増殖します。進行すると、肝腫大、腹痛、黄疸、肝機能障害などが現れ、さらに進行すると、閉塞性黄疸、病巣の中心壊死、病巣感染をきたし、末期には腹水や下肢の浮腫が現れます。脳に転移することもあり、意識障害やけいれん発作を引き起こします。

エキノкокクス症の治療は外科的切除となりますが、進行した病巣の完全切除は困難なこともありますので、感染の予防に重点を置く必要があります。

エキノкокクス症に、ワクチンや予防薬はありませんので、感染源となるキツネやイヌなどの宿主動物との接触や、虫卵に汚染されている可能性のある水や食品の摂取を避けることが重要です。

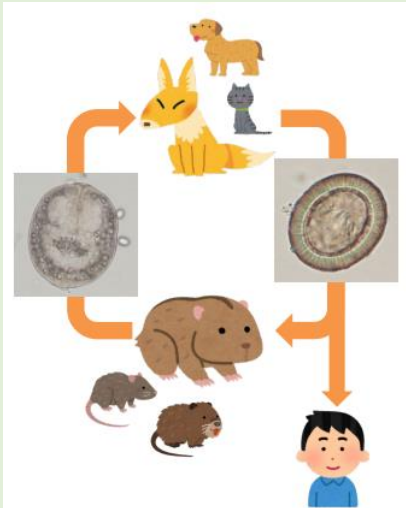


図 エキノкокクス の生活環

出典：国立感染症研究所

ホームページより一部抜粋

○詳しい情報はこちらをご覧ください。
☞ [エキノкокクス症\(国立健康危機管理研究機構 HP\)](#)

